

熊野町立地適正化計画策定委員会（第6回）

日 時：令和6年2月6日（火） 15:00～16:00

会 場：熊野町民会館 1階 集会室



1. 開会

2. あいさつ

三村町長

- ・本日は熊野町立地適正化計画策定委員会にご出席を賜り深く御礼申し上げます。本日で6回目の開催となり、立地適正化計画を策定する上で最後の策定委員会となる。前回の策定委員会で皆様方からいただいたご意見を踏まえ、計画案を策定したので、ご説明させていただきたい。
- ・また、昨年12月から今年1月にかけて実施したパブリックコメント、2月3日に開催した各地域での住民説明会についてご報告させていただきたい。
- ・委員の皆様にご専門の立場から忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務局

《欠席者》

- ・宮田委員（熊野町商工会）

《配布資料の確認》

田中会長

- ・最後の委員会となった。今回も円滑な進行にご協力いただきたい。
- ・12名の委員の出席、会が成立していることを報告する。

3. 議事

(1) 熊野町立地適正化計画（案）について

事務局

《第5回策定委員会の意見について説明》

- ・ 目標値の設定の考え方、区域設定の考え方について 資料3 第9章について説明
- ・ 3章以降の考え方や内容について 資料3 第3、4、5章について修正点について説明
- ・ 人口分析について 第2章 詳細な人口分析を追加したことを説明
- ・ 進行管理について 第9章2計画の推進に向けて修正点について説明
- ・ 解像度をあげた検討について 第6、7章の施策等を示した図面の修正点について説明
- ・ まちづくりのイメージについて 第3章の修正点について説明
- ・ その他の主な修正点について 一覧にして説明

《住民意向の反映について》

- ・ パブリックコメントの実施概要について説明
- ・ 住民説明会の実施概要について説明

《今後のスケジュールについて》

- ・ 公表までのスケジュールについて説明

根本委員

- ・ p.128 人流データについて。商業施設等ではどこに人が多いか見てみると、フジに人が多いと思った。ハローズに最も人が多いのは想定内だが、コスモスや藤三、業務スーパーにも人が多くいることを知った。参考になるよい資料である。
- ・ 居住誘導区域、都市機能誘導区域、都市機能誘導予定区域とある。住民から逆線引きの話が出ていて、将来的に逆線引きする箇所があるが、都市機能誘導予定区域は熊野町でもっとも熱い地域なので、将来的には市街化区域に入れて都市機能誘導区域にしていきたい。

事務局

- ・ そのように県や国等の関係機関と協議を進めている。

田中会長

- ・ 人流データについては大学でも協力したが、人流データを活用するとよくわかる。引き続きこういった分析を進めていきたい。

山滝委員（廣中委員代理）

- ・前回、目標として示されていた人口密度の記載がなくなっている。
- ・先行して人口密度をセットしている自治体もある。人口の指標は重要であると思うので、視点として持っていただきたい。

事務局

- ・前回の委員会で効果指標の在り方を議論し、効果指標を第3章の将来のまちのイメージに関わる内容で修正をさせていただいた。修正については、パブリックコメント実施前に各委員に説明を行い、整理させていただいた。
- ・なお、人口密度の目標値については、目標指標2 居住誘導区域に関する目標値と関連しており、人口密度を維持する方針としており p. 113 に参考値として示している。

田中委員長

- ・意見・質疑が無ければ各委員から一言ずついただきたい。

高井委員

- ・ここまで2年かかった。重要なのは、一般の方にわかりやすく示すこと。また、これまでの立地適正化計画とどこが違うのかを示すこと。そこを明確にすることで、目指すべき町の姿が想像でき、将来的によいまちづくりになっていくのではないかと。
- ・色を多く使うなど、なるべくわかりやすいものにしていただいたとは感じるが、一般の方には難しい印象がある。地域に出向いて説明を行う等の努力が必要ではないかと。

山根委員

- ・公共交通事業者として参加させてもらっている。公共交通計画と立地適正化計画の両輪で進めていただくようお願いしてきたが、ハード面で交通拠点の整備等が盛り込んであり感謝している。
- ・公共交通計画でもバス路線の維持について、幹線の移動、支線の移動の見直しなど、調整しながら再編を進めていければと思う。
- ・後半の人流データ、地域別カルテなどがあったが、バス事業者は手持ちのデータ、特に IC カードなどの利用データを活用して検討を行っている。将来の人口推計、人口構成の推計、これらが見えてくると路線検討にもつながってくると思う。今後、計画をアップデートしていくと思うが、データのアップデートも行っていただきたい。

栗原委員

- ・パブリックコメントの意見が無いのが寂しい。このまちをどう作り上げていくかは町民のみなさんにも考えてもらう必要があると思う。

- ・行政は住民の命と暮らしを守るためにあるという考えで、やりとりが密になるといい。
- ・本計画でも将来の人口減が示されているが、人口の取り合い合戦になっている。この先どうなっていくかはわからないが、熊野町がいつまでも住民から信頼されて住みよいまちになることを期待している。

光本委員

- ・いい計画ができた。これからは、どうやって実行していくかというフェーズに入ってくる。
- ・パブリックコメントがゼロであり、住民のまちづくりの関心が低い。計画の実現には住民の理解と協力が必要であり、行政も理解を深めていくことが必要。議会としても必要な計画として考えている。行政には住民の理解を進めるように努力していただきたい。

岩田委員

- ・立地適正化計画の策定にご理解とご支援に御礼を申し上げる。熊野町の人口は平成12年をピークに20年で2,500人減少した。熊野町もコンパクトに集約するようなことが必要であると考えている。本計画はこれからのまちづくりの基軸になると思っている。今後ともご協力をお願いしたい。

平岡委員

- ・幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校が一貫して教育を実施していることが熊野町の強みであるので、それについても対外的にアピールしながら進めていきたい。
- ・あわせてコミュニティスクールの取組などを進め、地域の活性化を図りたい。
- ・この度は、学校に関する適正化について議論しなかったが、今後進捗を注視し議論していきたい。

矢吹アドバイザー

- ・地理的な誘導が必要だと意見をあげたが、施策に盛り込んでいただいたと思う。
- ・今後は、実行フェーズに移っていくため、どのように実現していくかが大事になる。国としても支援メニューがあるため、今後国と相談しながら進めていただければと思う。

蒲原委員

- ・本計画の策定に携わることができうれしく思う。計画が策定されたこれからの意味でのスタートになる。
- ・県として広域道路整備、防災施策について一緒に進めていきたい。

山滝委員（廣中委員代理）

- ・細部の検討もされており、他市町のいい見本になるのではないかと。

- ・住民の方に興味を持っていただくというような話があるが、SNS を活用して意見を言おうという風潮がある自治体もある。
- ・住んでよかったと思える方々を増やしていくことが大事である。

根本委員

- ・大変勉強になった。住民の方の意見も聞けたのでよかった。まちづくりは、民間ができることは民間がやると良いと考えている。特に公共に担っていただきたいのは、民間だけでは難しい医療のことではないか。診療所の誘致などを行うことで、住みやすいまちにつながるのではないかと思う。

北村委員

- ・1年間委員会に参加させていただいて、熊野町の魅力や活力を感じた。まちの発展については、企業としても取り組んでいるので一緒に取り組んでいきたい。
- ・住民に、こういった計画を策定しているということを把握していただくことが重要。多くの年代の方に届けられるように、SNS など色々な媒体を使い発信していただきたい。

神田副会長

- ・人口減少を前提にするのか否かという議論があったが、最終的に計画としては、人口減少を前提にするのではなくて、人口を維持していくということが前提になっていると思う。広島県の全体の人口減少について報道されたが、今後どちらにも転びうると思う。そういった状況にあるという認識を持つておく必要がある。
- ・都市に対する投資を進めていく必要を感じた。緊張感を持って取り組んでいく必要があることを最後にお伝えしたい。
- ・子どもたちが住みたいと思えるまちづくりを進めていただきたい。

田中会長

- ・住民の方に知ってもらい取り組みを実施する必要がある。住民に知ってもらい機運も高めていただきたい。
- ・人口をどのようにするのが大事だと感じたが、モニタリング、データ活用しながら進めていただきたい。
- ・他の委員からも意見があったが、実効性が重要。住民の方にも知っていただきながら、実行に移していただきたい。
- ・目指すべき町の姿が見える計画になっているのではないか。ここにいる委員のみなさまにも協力いただきながら進めていただければと思う。

4. 閉会

事務局

- ・皆様から頂いたご意見を踏まえ、最終調整をさせていただく。
- ・3月に製本をして本誌を各委員に配布予定。
- ・委員の任期は3月31日までとさせていただく。
- ・都市再生協議会の設立については、今後、調整を図るので協力をお願いする。
- ・以上で閉会する。2年間、貴重なご意見をいただきお礼を申し上げます。